

令和7年度

岩見沢市立メープル小学校学校評価報告書



【学校の概要】

学校名	岩見沢市立メープル小学校							
学校長	古畑 聡子				教職員数			10
	支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学級数	2	1		1		1		5
児童数	2	3	5	2	3	4	7	26
住所	岩見沢市上志文町107-1							
電話	0126-44-2205							
FAX	0126-44-2519							
URL	http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/maple/index.html							
Email	maples@edu.hamanasu.com (学校代表メール)							

I 学校教育目標

1. 校 訓 理想の実現をめざす
2. 教育目標 一人一人が輝いて心豊かに育つメープルの子
 - 自ら学び、よく考え行動できる子ども
 - 豊かな感性と思いやりの心を持つ子ども
 - 体を鍛え、明るく元気に活動する子ども
3. 令和7年度 岩見沢市立メープル小学校 学校経営方針

【清園中学校区3校連携スローガン】

『 ～利他共生～ 自分で決めた！挑戦できた！ 』

と力強く言える学校・子ども

清園中学校区3校（清園中・志文小・メープル小）は「児童生徒の自己有用感を高める」ことを目的に、小中が連携して教育活動を展開するため、小中連携のスローガン（芯柱）を「～利他共生～ 自分で決めた！挑戦できた！」と設定する。

これまで全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査から、清園中学校区の3校では、「自分にはよいところがある」の質問に対し、肯定回答が低い傾向が見られました。そこで、義務教育9年間において子どもたちが「自分には、よいところがある」と力強く言えるようになることを3校の目標に設定し、これまで連携した活動を展開することにより、自己有用感の向上に成果を上げてきています。

今年度も引き続き3校連携のスローガンを「～利他共生～自分で決めた！挑戦できた！」と設定しました。「利他」とは、誰かのために自分を生かすこと、「共生」とはともに生きることです。他人の役にたった、他人に喜んでもらえたなど、他者との関係の中で育まれる「自己有用感」をさらに高めるとともに、自尊感情や自己効力感の獲得につなげる教育活動を3校がともに推進し、「幸福感」「学校や地域でのつながり」「協働性」「利他性」「多様性への理解」「社会貢献意識」「自己実現」「心身の健康」など子どもを含め、職員や家庭・地域のウェルビーイング向上を目指します。このような3校連携事業の中、メープル小学校は、9年間の義務教育で目指している目標を頂上とした山に全職員で登り、連携校である清園中学校の教育につなげていく覚悟で学校経営を推進します。

1. 本校の教育

- (1) 校 訓 理想の実現をめざす
- (2) 教育目標 一人一人が輝いて心豊かに育つメープルの子
 - ・自ら学び、よく考え行動できる子ども
 - ・豊かな感性と思いやりの心を持つ子ども
 - ・体を鍛え、明るく元気に活動する子ども

(3) 小規模特認校

自然環境に恵まれた小規模校で心身の健康の増強を図り体力づくりを目指すとともに、自然にふれあう中で豊かな人間性を培い明るく伸び伸びとした特色ある教育活動の元で学ぶことを希望する保護者や児童に、就学を認めることを目的に、平成22年度から認可校として指定されました。小規模特認校制度は、保護者が上記の目的を十分理解し、小規模校の持

つ特色ある環境の中で児童に教育を受けさせたいと希望する場合、一定の条件を承諾の上で、通学区域による事なく就学することが可能になる制度です。

2. 令和7年度 学校経営方針

岩見沢市教育行政方針「子どもが煌めく学校教育」の実現に向けて、これまでの教育活動や指導の在り方を大きく見直し、小規模校であること、複式の学級編制であることのよさを最大限に生かした教育活動を通して「自立的な学習者」の育成を目指します。

そのため、自己有用感を高める取組を清園中学校、志文小学校とともに充実させ、あらゆる教育活動において「自分で考え、みんなで創ること」を大切にしたい取組を組織的な学校運営により実現し、児童も教職員も笑顔と元気にあふれる学校を創造します。

そこで、次の5つの方針により学校経営を推進します。

- (1) 小規模特認校として、地域とともにメープルらしい魅力と特色ある教育活動を展開します。
- (2) 前年踏襲はやめて取捨選択し、良いことはすぐに実行します。
- (3) 多様性やLGBTQの理解を深めます。(公の場での呼称は「さん」で統一)
- (4) 全ての児童への学びの保障のため、「学びを止めない」工夫をします。
- (5) 教育課程や指導体制の工夫等で、空き時間の捻出や教材準備の軽減を図ります。(働き方改革)

3. めざす学校の姿・子どもの姿・教職員の姿

キーワード 子どもが自分で決める学校

【学 校】 「子どもが自分で決める」学校

【子ども】 「自分で決めて自走する」子ども

【教職員】 「自分たちで自走する」教職員

めざす子ども像の具体（学校評価児童調査項目）

学校教育目標 (めざす子ども像)	めざす子ども像の具体 (学校評価児童調査項目)
自ら学び、よく考え 行動できる子ども (知)	授業では、自分の考えや思いを発表している
	友達と伝え合い、協力しながら学習している。
	わからない問題や難しい問題にも挑戦している。
豊かな感性と思いや りの心を持つ子ども (徳)	友達となかよく学習したり、遊んだりしている。
	仲間と話し合いながらよりよい活動を決められる。
	仲間の良さを認め、違う考えも聞くことができる。
体を鍛え、明るく元 気に活動する子ども (体)	運動や体を使った遊びを楽しんでいる。
	「時を守り、場を清め、礼を正す」を意識した行動をしている。
※小中連携目標	自分で決めることができる。
※子どもの学校	メープル小学校はたのしい学校である
	地域の人とふれあったり、まわりの自然や環境を生かしたりする学習を楽しんでいる。

4. 令和7年度 重点目標

重点1	【授業改革】 自立的な学習者を育てる授業づくり
-----	-------------------------

(1) 到達目標

- ①標準学力検査（NRT）の結果、国語・算数ともに前年度より向上した児童を80%以上にする。（令和8年4月実施のNRT結果での判断）
- ②学期末ごとの学校評価（児童アンケート）で、「わからない問題や難しい問題にも挑戦している」を90%以上にする。

(2) 具体的な手立て

子どもが主人公になる「授業づくり」の推進を通して、主体的に学ぶ児童（自立的学習者）を育てる。

- ①複式授業のよさを生かした子どもの声が響き合う授業の展開
 - ・「学習のことば」によって子どもを動かし、「つなぐことば」によって子どもの思考に働きかけ、子どもの声が響く授業展開
 - ・子どもの「問い」や「願い」による学習課題の設定
 - ・学習成果を生かす（発信する・発表する）アウトプットの機会の日常化
 - ・中学校につなげる学習スキルと学習ルールの徹底
- ②教師の授業スキル向上に向けた実践的な研修の推進
 - ・積極的な授業公開に基づいた校内研修の推進
 - ・SMS小中連携による研修の推進
 - ・「他に問い、他に学ぶ」姿勢で行う公開研究会の開催（へき地・複式研）
 - ・関係機関と連携した研修の推進
- ③ICTの活用による授業改善。子どもの学び方の育成
 - ・対面指導とともに、遠隔・オンライン教育とを使いこなすハイブリット化の推進
- ④自ら学ぶ子どもを育てる家庭学習の取組
 - ・デジタル教材を活用した基礎学力・学習習慣の定着
 - ・小中連携で取り組む「マイ・ノート」の実施
 - ・家庭学習のてびきの活用

重点2	【心の教育の改革】 自分の思いを実現できる仲間づくり
-----	----------------------------

(1) 到達目標

児童質問調査で以下の調査項目の結果を向上させる。（令和8年4月全国学調）

- ①学校に行くのは楽しい。（90%以上）
- ②自分には良いところがある。（85%以上）

(2) 具体的な手立て

「よりよい人間関係づくり」の取組を推進することで、支持的・親和的な学級をつくり、児童の居心地の良さを高める。

- ①支持的・親和的な人間関係を基盤にやってみたいを実現する集団の育成
 - ・ピア・サポート活動年間プログラムの作成と実施

- ・異学年交流等、仲間同士で相互に支え合い「あこがれ」と「思いやり」を育む活動の推進
- ・特別活動を中心とした「みんなの学校づくりプロジェクト」の推進
- ②児童理解を目指した教育相談の実施と職員間の日常的な児童の実態交流の充実
 - ・いじめ、不登校の徹底予防に向けた児童一人一人との関わり（定期・不定期の教育相談）の実施
 - ・全校児童を全職員で育てる姿勢をつくる児童交流会の定期開催
 - ・支援や配慮が必要な児童に対する校内委員会を通じた組織的な児童支援の実施
- ③「特別の教科 道徳」の時間の充実
 - ・自分事として考え、議論する道徳の授業の充実
 - ・外部講師を活用した研修会の開催
 - ・参観日などでの道徳授業の積極的な公開による、家庭と連携した豊かな心を育む活動の共有

重点3	【特色ある教育活動改革】	地域を知り・地域に働きかける学びづくり
------------	---------------------	---------------------

(1) 到達目標

児童質問調査「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う」に対し、肯定的回答を90%以上にする。

(2) 具体的な手立て

- ①ふるさとに生まれ、地域に貢献しようとする意欲を育む教育活動の推進
 - ・地域に貢献しようとする意欲を高める地域を教材とした探究活動の推進
 - ・地域人材、専門家等を積極的に活用した教育活動の実施
 - ・ICTの活用による積極的な他行との交流と遠隔学習の推進
- ②義務教育9年間を見通した計画的・継続的な教育課程の充実
 - ・小中接続のもと9か年の継続性ある指導の充実
 - ・乗入れ授業や小中合同学習の計画的な年間実施
 - ・小中合同研修会を通じた教育課程接続の研究推進「ふるさとを愛し生き抜く教育課程」の整備（特に道徳科・キャリア教育）

重点4	【学校組織改革】	議論し、知恵を結集し合い自走するチームづくり
------------	-----------------	------------------------

(1) 数値目標

- ・時間外在校等時間を1か月45時間、1年間360時間以下にする。
（なお、学校の施錠は19:00とする）
- ・教職員の年次有給休暇の行使を10日以上にする。
- ・月2回のMy定時退勤日の実施

(2) 具体的な手立て

- ①目的達成型の分掌組織による業務の推進と校内運営委員会の機能強化

- ・校内運営委員会の裁量権の拡大による独自性と創造性の発揮
- ・校内運営委員会を働き方改革コアチームに位置づけ、業務の必要性や効果、優先順位を検討し、業務の効率化を推進
- ・教職としての専門性を高め、教育活動を充実させるための時間を生み出す教育課程の改善

②地域みんなで子どもを育てる環境づくり

- ・清園中学校区学校運営協議会（コミュニティ・エリア）での特色ある活動推進
- ・すべての保護者が全校児童を支えるためのPTA活動の推進
- ・地域おこし推進員と連携した、探究的なふるさと学習の創造

5. 各種評価結果と改善策

結果は以下のとおりです。平均正答率と、全国平均値を100とした場合の全国比です。国語の正答率が低く、理由を文章にして記述する問題や漢字で表す問題に課題が見られました。

【全国学力・学習状況調査（6年）】

	国語		算数		理科	
	平均正答率	全国比 (全国を100とした値)	平均正答率	全国比 (全国を100とした値)	平均正答率	全国比 (全国を100とした値)
本校	45% (昨年度 75%)	70 (昨年度 103)	56% (昨年度 81%)	97 (昨年度 107)	54%	96
全道	65 %	97	55 %	95	56 %	98
全国	66.8%	100	58.0%	100	57.1%	100

あわせて、4月に2～6年生が実施した標準学力検査（NRT）の結果をお伝えします。なお、学年ごとの結果を公表すると個人の結果がわかる場合がありますので、学校全体の結果をお伝えします。

【標準学力検査（2～6年）】

教科	偏差値平均 ()は昨年度
国語	49.2 (45.9)
算数	47.8 (47.5)

国語と算数を合わせた5段階分布	
5 (偏差値 65～)	0%
4 (偏差値 55～64)	29%
3 (偏差値 45～54)	41%
2 (偏差値 35～44)	29%
1 (偏差値 ～34)	0%

偏差値は、50が平均値なので、今年度もやや平均値を下回っています。

5段階分布は、3を中心とした典型的な山型ですが、5の0%が残念です。5の実力があるのに発揮しきれていない児童（アンダーチーバー）がいるかもしれません。もてる力を発揮できるよう、発展問題等の多くの問題に挑戦してほしいと思います。家庭学習でも、自分に合った自主学習を工夫し、どんどん取り組んでほしいと思います。

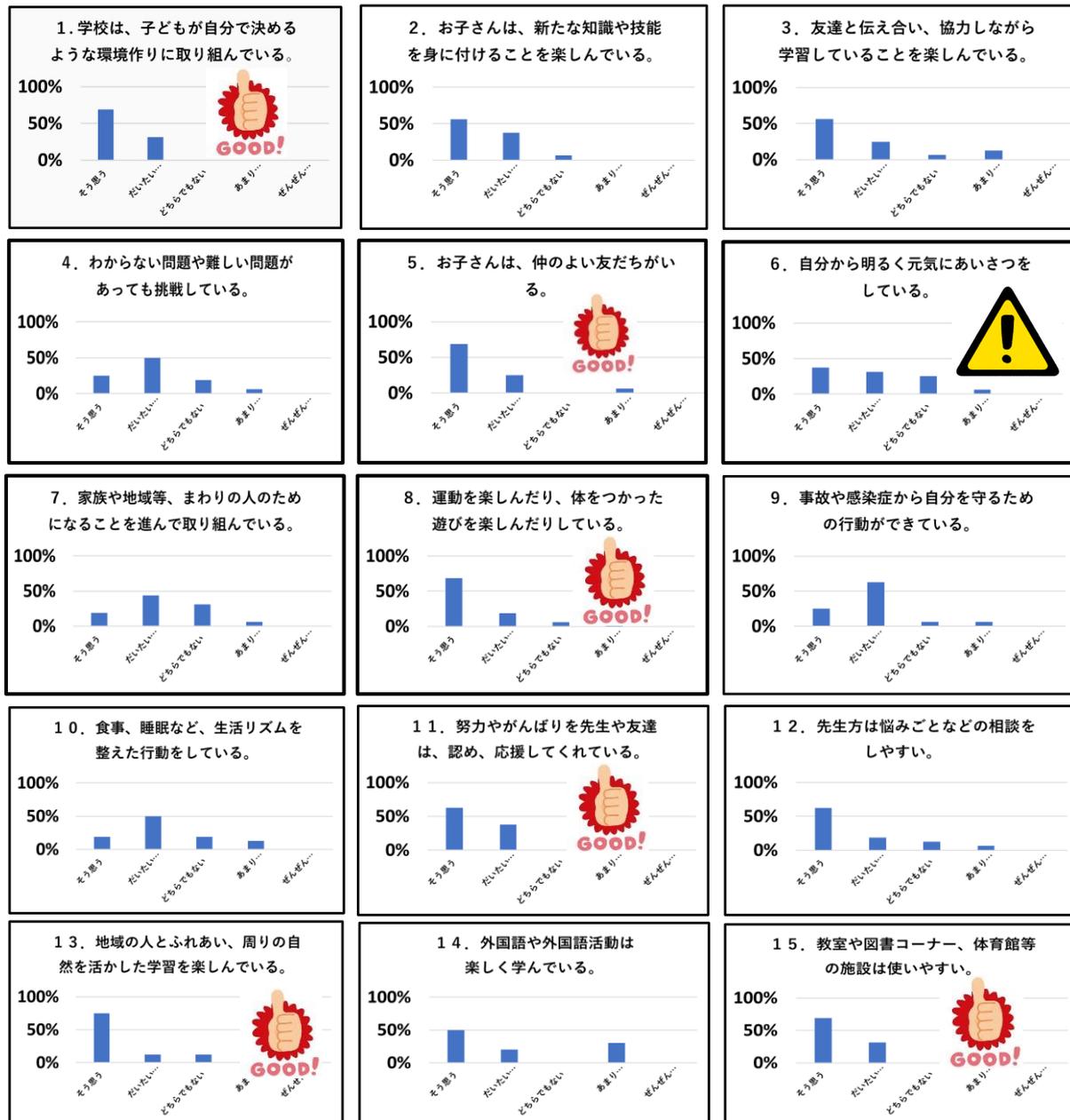
6. 学校関係者評価を受けての改善策等
・児童アンケート

	そう思う	だいたい そう思う	どちらで もない	あまり 思わない	ぜんぜん 思わない
1. 自分たちで決めることができた。	34.8%	60.9%	4.3%	0.0%	0.0%
2. 先生は、あなたの努力やがんばりを認めてくれたり応援してくれたりしている。	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 先生は、あなたの話を聞いてくれたり、相談にのってくれたりしている。	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	0.0%
4. 授業では、自分の考えや思いを発表している。	30.4%	52.2%	13.0%	4.3%	0.0%
5. 友達と伝え合ったり、協力したりしながら学習している。	78.3%	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%
6. わからない問題や難しい問題があっても挑戦している。	39.1%	43.5%	13.0%	4.3%	0.0%
7. 友達となかよく学習したり、遊んだりしている。	56.5%	34.8%	0.0%	0.0%	4.3%
8. 自分から明るく元気にあいさつをしている。	52.2%	30.4%	17.4%	0.0%	0.0%
9. 学級やまわりの人のためになることを進んで取り組んでいる。	47.8%	34.8%	17.4%	0.0%	0.0%
10. 友達の良いところを言うことができる。	56.5%	30.4%	13.0%	0.0%	0.0%
11. 自分には良いところがある。	26.1%	39.1%	13.0%	13.0%	4.3%
12. 運動を楽しんだり、体をつかった遊びを楽しんだりしている。	65.2%	21.7%	0.0%	4.3%	4.3%
13. 自分の健康に気をつけて生活している。	30.4%	56.5%	8.7%	4.3%	0.0%
14. 地域の人とのふれあいや、まわりの自然を活かした学習を楽しんでいる。	60.9%	30.4%	4.3%	0.0%	4.3%
15. 外国語や外国語活動を楽しく学んでいる。(3～6年)	33.3%	20.0%	33.3%	0.0%	13.3%
16. 学校の教室や図書コーナー、体育館などの施設は使いやすい。	78.3%	17.4%	0.0%	4.3%	0.0%

「1. 自分たちで決めることができた。」の肯定的な意見が95.7%と高い評価となっています。今年度のスローガン「子どもが自分で決める学校」が定着していることがうかがえます。また、「2. 先生は、あなたの努力やがんばりを認めてくれたり応援してくれたりしている。」も肯定的な意見が100%となっており、これは誇れるものであると考えます。

「10. 友達の良いところを言うことができる。」は肯定的意見が多いのですが「11. 自分には良いところがある。」は肯定的意見が多くはありません。この点は分析を深めて、改善策を講じていきます。

・保護者アンケート



「1. 子どもが自分で決めるような環境づくりに取り組んでいる。」と「11. 努力やがんばりを先生や友達は認め、応援してくれる。」など、1学期に引き続き肯定的な回答を多数いただきました。今年度のテーマである「子どもが自分で決める学校」について大きく評価いただいたものと考えます。しかし、「6. あいさつ」に関しては肯定的な回答が多少増加しているものの、まだ十分とはいえない状態です。学校としての課題の一つとして、ご家庭のご協力を得ながら取り組みを継続していきます。



保護者アンケートに記述いただいた【メープル小児童の良いところ】【メープル小の児童にこうなってほしい】【学校への期待・改善を望むこと・先生に考えてほしいこと】の3項目の要点をまとめました。

～児童の良いところ～

- ◆ 1. 人間関係・雰囲気の良いさ
 - ・ 仲が良く、学年を越えて交流している
 - ・ 分け隔てなく接し、協力し合っている
 - ・ 困っている友だちに静かに寄り添う優しさがある
 - ・ 元気で明るい雰囲気がある
- ◆ 2. 主体性・自分で決める力
 - ・ 自分のことを自分で決められる主体性
 - ・ 行動・発言が伸び伸びしている
 - ・ 自分で考えて判断しようとする姿勢が根付いている
 - ・ 自分で決める経験が多く、行動に自信がある
- ◆ 3. 発信力・活動の推進力
 - ・ 発表の機会が多く、人前でも緊張せずに話せるようになっている
 - ・ 自分の意見や考えを表現する機会が多い
 - ・ 学校行事で主体的に動き、司会や進行を率先して務める推進力がある
- ◆ 4. 思いやり・気遣い
 - ・ 相手の困りごとに気づき、自然に助けようとする
 - ・ 周りの友達に目を向け、協力しながら取り組む習慣がある
- ◆ 5. 基本的な生活・態度の良いさ
 - ・ 「お利口さん」と感じられる落ち着いた行動
 - ・ 元気でありながら、良い意味でしっかりしている姿が見られる



子供たちは「仲の良さ」「主体性」「発信力」「思いやり」「基本的な生活態度」の全てにおいて成長が見られ、学年を越えた温かい関係性の中で、自分の考えを表現しながら前向きに活動できる姿を大変高く評価していただきました。

～児童にこうなってほしい（姿）～

- ◆ 1. 挑戦する力・主体性
 - ・ 遠慮せず、何事にも挑戦できる力
 - ・ 自分の考えや思いをためらわずに形にできる子
 - ・ 自ら発信し、嫌なことは嫌と言える自己表現力
- ◆ 2. 思いやり・人との関わり
 - ・ 友だちを思いやり、困っている人を助け合える子ども
 - ・ 陰口を言わず、多様な考えや感じ方を理解し合える関係性
 - ・ 仲良く協力し合い、安心して過ごせる集団
- ◆ 3. 基本的な生活習慣・態度
 - ・ 自分から進んで挨拶ができる人
 - ・ 子どもらしく元気でありながら、しっかりとした芯を持った成長を望む
- ◆ 4. 学びへの向き合い方
 - ・ 一人ひとりの興味・関心を深め、学びや経験
 - ・ 様々な課題に向き合い、解決していく力
- ◆ 5. 「自分で」から「みんなで」決める力
 - ・ 自己決定を土台に、仲間と合意形成を行える力
 - ・ 多数決に頼らず、少数意見も大切にした民主的な対話ができる子
 - ・ 将来、社会や地域を支える「市民」として成長していくこと



挑戦する主体性」と「思いやりを併せ持ち、自分の考えを発信しながら仲間と民主的に話し合い、学び

や経験を楽しみつつ、将来「社会を支える存在」へと成長していく子どもたちの今以上に成長した姿を望んでいることがわかりました。

～学校への期待・改善を望むこと・先生に考えてほしいこと～

◆1. 学校に期待していること】

- 一人ひとりに合った、きめ細やかな学習支援
- 子どもが自分の考えを発言し、さらに深く学べるような指導
- 子ども主体で行事や学習を進める今のスタイルの継続
- 子どもの主体性・創造性を伸ばす教育の推進



◆2. 教育活動・行事で改善を望むこと】

- 学習発表会での校長挨拶の実施を希望
- 発表会での 子どもの立ち位置の事前案内（見やすさの改善）
- 災害を想定した炊き出し等の体験学習の導入
- 学校祭など 地域・校区外へ公開する行事 の開催を希望
- 低学年が茶道を体験できる機会の整備（礼節・落ち着きの学習）



◆3. 先生方に考えてほしいこと】

- 宿題の実施を希望（特に長期休暇）
- 子ども主体の話し合いを進める際は、
 - 大人がまず「活動の目的」を明確にし、その目的を子どもに分かりやすく提示、目的に沿って子どもが話し合える環境づくりが大切

宿題や行事運営の改善、きめ細やかな学習支援など、子ども主体の活動の継続を期待する意見を多くいただきました。なお、宿題に関しましては、子供たちの自主性を育てるために廃止としていますが、家庭学習の充実のために帰りの会等で、「家庭学習でやること」を自分で考えて取り組ませるようにしています。ご家庭でも「今日は何やるの？」など、学習内容を確認、さらに前向きに家庭学習に取り組むことができる声かけをお願いします。



